



# 芸南トピックス



## 組合員の意思を JA運営に反映

JAひろしま芸南地域本部は、7月18日と20日に管内3カ所ですべて説明会を開催しました。

説明会では、令和4年度の事業実績、総代選出について説明し、組合員からJA運営や事業について意見を聞きました。JAひろしまは、職員による組合員、地域利用者へのふれあい活動に積極的に

取り組み、対話に重点を置きます。対話活動から組合員、利用者とのつながり強化を図り、意見や要望などは迅速に経営陣へ報告する体制としています。

説明会で山田政教常務理事は、被合併組合各地域の文化や考え方を大切に業務運営することを伝え、組合員からは、農機修理事業の要望、組合員の意思反映の機会確保、支店整備などについて意見が出ました。



## 夏休みに映える お菓子作り教室

JAひろしま女性部芸南地区本部は8月5日、川尻支店でお菓子作り教室を開きました。部員の子どもたちや、非会員の方の参加もあり、総勢20人での教室となりました。

沖野部長は、食農教育とお母さん、おばあちゃんの活動を子どもたちに知ってもらうことを目的に、お菓子作り教室を開きました。また、非会員の方にも活動に参加してもらうことで、広くJA女性部活動を推進する、と力を込めました。

お菓子作りでは、「カラフルわらび餅」と「ねりきり向日葵」を作りました。子どもたちは、難しい作業を大人に手伝ってもらいながら、熱心にお菓子作りに励み、「おいしそう」「お父さん、お母さん



にあげるために、頑張った」「楽しかった」「練り切りは難しかった」と笑顔で話していました。

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

## JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農産物の生産拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



あなたとわたしの  
ふれあい市



9月中旬～  
10月下旬の  
おすすめ

みなさんこんにちは♪日がだんだん短くなってきました。秋ですね～☆  
それでは！ふれあい市から、季節の情報をお届けします☆彡



安浦 日の浦産  
さといも

9月中・下旬ごろから

いちじく

10月末まで店舗に並びます



シャインマスカット  
をはじめ、種類豊富な  
「ぶどう」が  
9月末まで並びます!

お土産に♪  
贈答に♪  
いかがですか?



JA独自産品を中心とした  
地産地消運動に取り組んでいます☆

じゃぼんチーズケーキ

「安芸津日和」  
好評販売中!

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか?  
興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：高本まで



# なるほどえ〜のう！ 営農情報

## 9月

### 水稲

#### 病害虫防除と刈取時期について

##### カメムシ類・ウンカ類対策

- ①カメムシ類は収穫期近くまで加害します。穂揃期を目安に防除し、その後も発見される場合は追加の防除をしましょう。
- ②ウンカ類は収穫時期に発生が多くなり、坪枯れの原因となるので、早めに防除をしましょう。

##### (農薬の使用例)

- 〔粉剤〕
  - ・スタークル粉剤10a当り3kg(収穫7日前まで、使用回数3回以内)
  - ・トレボン粉剤10a当り3〜4kg(収穫7日前まで、使用回数3回以内)
- 〔液剤〕
  - ・スタークル顆粒水溶剤(2,000

重要な作業です。着蕾期までには必ず行ないましょう。

#### たまねぎ

- ①極端な早まきはトウ立ちの原因となるため播種時期を必ず守りましょう。
- ②早生種は9月7〜10日頃、中〜晩生種は9月20〜25日頃播種します。
- ③播種前日に苗床を十分かん水し、種子には苗立枯病予防として、オーソサイド顆粒水和剤80を種子に粉衣(まぶす)しましょう。播種は条間6cm程度の条播き、又はばら播きとし、厚播きにならないようにしましょう。軽く覆土、鎮圧し、かん水した後、発芽まで不織布などで乾燥防止対策をしましょう。
- ④ほ場の準備として、コガネムシ類・タネバエ対策
- (殺虫) ダイアジノン粒剤5を1a当り400〜600g(播種時又は定植時、使用回数2回以内)を土壌混和しましょう。

#### その他野菜

ニンジン・ダイコンなどの根菜類をはじめ、冬の作型が中心となるハクサイなどは、9月を中心に品種ごとに種まき時期が限定されています。まき遅れ、作型違いなどは生育不良の原因となるので、種子袋などの曆をよく読み、適期を守って播種しましょう。

- 倍液) 10a当り散布液量100〜150ℓ(収穫7日前まで、使用回数3回以内)
- 〔粒剤〕
  - ・スタークル粒剤10a当り3kg(収穫7日前まで、使用回数3回以内)
  - 〔豆粒剤〕
    - ・スタークル豆つぶ10a当り250〜500g(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

#### 刈取までの作業と管理の目安

- ①落水時期：出穂後25〜30日頃が目安となります。早く落水しすぎると粒張が悪くなるので注意しましょう。
  - ②刈取時期：バインダーでは穂軸の先が1/3程度、黄色くなった時が基準になります。又、コンバインではそれより3〜5日程度遅らせて刈取をしましょう。
- ただし、ほ場の観察を行なって、全体の半分しか熟していないなどの場合は、さらに遅らせて刈取作業に入りましょう。
- なお、ヒノヒカリは、刈取が遅れると茶米が発生するので、刈取が遅れないように気をつけましょう。
- 水分が高い時(水分計で測定不能な場合)は送風乾燥と適正な乾燥温度で仕上げましょう。

水稲 問 安浦店  
TEL 0823-842049  
担当 桑原 伸明

#### 馬鈴しょの生産者のみなさまへ

現在、「ウイルス病」が多発しています。対応薬剤はなく、減産を招くおそろしい病気で、産地最大の課題です。感染源となる「アブラムシ類」の防除、収穫後の畑に残った芋(野良芋)が発芽するので、徹底して除去するなどの方法が有効です。特に種芋は正規に販売されているものを使い、切断する場合、包丁の殺菌をしましょう。

#### 農業の安全使用基準を守り、生産工程管理日誌を提出しましょう！

農業に関する法律が厳格化しています。(適用作物・希釈倍数・収穫前・使用回数など)基準外の使用が確認されると、出荷者個人に全商品回収や、損害賠償などが課せられる可能性があります。風評被害による影響も深刻となります。

**生産工程管理日誌**は、事故があった場合に、安全を確認する手段となり、同時に**出荷者が適正な管理をした記録**でもあります。ご自身の信用と安全を守るため、生産管理を徹底し、記録・提出をお願いします。

野菜 問 営農経済課  
TEL 0846-4513360  
担当 久保 勝義

### 野菜

#### 馬鈴しょ

##### 植え付けと病害虫防除と管理について

- ①そうか病の対策
  - 種子消毒として、アタッキン水和剤(40倍液)に10秒浸漬しましょう。
  - または、ソイルサブリエキス(5倍液)を種芋にコーティングし、日陰で2〜3日乾かしたのちに定植しましょう。
- ②種芋の管理
  - 種芋を切断する刃物を消毒するためにケミクロンG10倍を使用しますが、熱湯による殺菌も可能です。(沸騰したお湯に刃物を4〜5秒つけ、種芋を10個ほど切断したら、再度お湯につけましょう)
  - 植え付け時にはアブラムシ防除のため、アドマイヤーI粒剤10a当り4kg(使用回数1回)を植え溝に施用しましょう。
- ③元肥の施用
  - 馬鈴しょ有機特号・グリーンドク

タ12号のどちらかを10a当り110kg、または馬鈴化成888を10a当り130kg施用しましょう。

##### ④病害虫防除例

- 発芽揃期：初期防除として
  - (殺菌) ジマンダイセン500倍液(収穫7日前まで、使用回数10回以内)
  - (殺虫) モスピラン顆粒水溶剤(収穫7日前まで、使用回数3回以内)を散布しましょう。
  - (害虫多発時) ランネット45DF1, 000倍液(収穫7日前まで、使用回数5回以内)を散布しましょう。
- 初期防除から2週間前後を目安に
  - (殺菌) ランマンフロアブル1,000倍液(収穫7日前まで、使用回数4回以内)
  - (殺虫) ジエイエース1,000倍液(収穫30日前まで、使用回数2回以内)を散布しましょう。
  - (ヨトウムシ多発時) フェニックス顆粒水和剤2,000倍液(収穫前日まで、使用回数2回以内)を散布しましょう。
- ⑤中耕・土寄せ作業
  - 初期生育を促進するために、発芽揃期に追肥として、馬鈴化成S30、または馬鈴化成888、またはグリーンドクタ12号を10a当り60kg施用し中耕しましょう。その後の土寄せは芋の露出を少なくし、肥大を促進するための

### 果樹

#### かんきつ

今月は気象変動による気温の上昇も激しくなります。浮皮果や日焼け果が出ないよう、カルシウム資材の散布を徹底し、成品率の向上および高品質果実生産に努めましょう。

##### ○温州ミカン：後期重点摘果の徹底

温州ミカンは多めの果実を樹にならせ、仕上げ摘果を重点的に行なう事で、果実に養分が蓄積され、糖度が上がり着色も促進されます。

仕上げ摘果時期：極早生・早生温州は9月上旬〜下旬、普通温州(大津四号・青島温州等)は9月中旬〜10月中旬を基本とし、収穫時には成品のみが樹に成っている状態に仕上げましょう。

ただし、干ばつ状態が続いている場合はかん水を実施し、果実肥大が順調であることが必要です。また摘果が不十分な場合、着果過多による小玉果・隔年結果の助長へと繋がりますので、確実に適正着果量まで摘果しましょう。

##### ○中晩柑類：かきよう病防除の徹底

かきよう病は風雨によって果実被害が出るため、台風前には必ずクフロシールド2,000倍液を散布しましょう。一度罹病してしまうと根絶するのは困難ですので、早めの防除を心掛けましょう。

○ミカンサビダニの防除  
8月の定期防除から約1ヵ月後を目安に、サルファゾール400倍液を散布しましょう。

##### ○浮皮防止と予措・着色促進対策

温州ミカンの浮皮軽減・中晩柑類の果皮強化のため、リン酸とカルシウムを含んだ「カルピタP」770倍液(一袋を500ℓに溶く)を収穫前まで2週間おきに2回〜3回程度、散布しましょう。

##### ○中晩柑類のかん水・土壌乾燥防止

降雨が1週間〜10日以上ない場合は、20ml〜30mlのかん水を行ないましょう。

##### ○腐敗防止対策

極早生：9月下旬〜10月上旬  
ペフラン液剤25(劇)2,000倍液(収穫前日まで使用回数3回以内)またはペフトップジンフロアブル1,500倍液(収穫7日前まで使用回数3回以内)を散布しましょう。またミカンハダニが発生している園地は、コクマイト水和剤2,000液(収穫7日前まで使用回数2回以内)を混用散布し、固着性展着剤アヒオンE1,000倍液も混用し、耐雨性を高めましょう。

##### ○中晩柑類は秋肥を施用する

9月上旬に、秋肥(フルーツ元気200又は中晩柑一発358)を施用し

ましよう。  
 施肥量：10a当り生産量3t目標の場合

- ・フルーツ元気200（5袋/10a）
- ・中晩柑一発358（8袋/10a）

**びわ**

- ・秋肥の施用  
 9月下旬～10月上旬に秋肥として、元気866を施用しましょう。（6袋/10a）
- 併せて硫酸加里を施用し、耐寒力を強化しましょう。（10kg/10a）

**いちじく**

収穫が本格的に始まります。体調管理に十分注意して収穫を行ないましよう。

- ・収穫は、気温の低い早朝に行ないましょう。
- ・腐敗した果実を園内に放置しておく
- と、シヨウジヨウバ工等が増殖し共腐れを招くため、腐敗果は必ず園外に持ち出して処分しましょう。
- ・収穫時期であっても高温乾燥が続く場合はかん水を行ない、小玉果・ヤケ熟れ果の発生を防ぎましょう。

**農薬使用の注意点**

- ・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示版などで農薬の使用

を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。  
 ・作物の残留農薬が問題となつていますが、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。ただし、農薬ごとに作物名が似ているなど、間違いやすいものがありますので厳重に注意して使用してください。

**果樹問** 安芸津アグリセンター  
 TEL 084614510488  
 担当 広果運駐在技術員 須野田 祐也

**芸南果樹研究同志会**

**総会を開催**

芸南果樹研究同志会は7月27日、芸南地域本部で第65回の通常総会を開催しました。生産者、広島県西部農業技術指導所、東広島市園芸センター、J A広島果実連など29名が出席しました。ミカンとビワの品評会の結果を報告し、令和5年度活動計画など2議案を可決しました。

広島県立総合技術研究所農業技術センターの柳本裕子技師が、柑橘の県奨励新品種「瑞季」の栽培管理について記念講演し、「瑞季は、さわやかな風味で、果肉は柔らかく多汁でカットフルーツに適している」と説明し

ました。瑞希は晩生で、端境期の出荷が期待できる品種です。甲斐直樹会長は「産地振興品目を品種を中心に、未収益期間を少しでも短縮できるように、令和5年度も大苗育苗事業に取り組む」と力を込めました。



**果実品評会入賞者**

	みかんの部			びわの部		
	入賞者氏名	支部名	品種名	入賞者氏名	支部名	品種名
最優秀賞 (広果連会長賞)	江村 拓也	風早	青島	渡辺 行峯	風早	田中
優秀賞 (組合長賞)	中岡 昇	風早	青島	中岡 昇	風早	田中
一等賞	山平 忍	赤崎	大津四号	江村 拓也	風早	田中
	山之内賢治	大芝	寿太郎			
二等賞	山中 斉昭	風早	青島	金本 作枝	大芝	福原
	古本 幸江	大芝	寿太郎	谷口 富次	大芝	福原
三等賞	山中 昭治	風早	大津四号	山中 斉昭	風早	田中
	甲斐 直樹	赤崎	大津四号	古本 和則	風早	田中
出品数	17点 (大津四号：4、青島温州：6、寿太郎7)			17点 (田中：13、福原：4)		

**9月の野菜作付情報**

安芸津アグリセンターでは、直売所などJ A出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂きぜひご利用ください。



128穴セルトレイ (商品例) キャベツ苗

**今月の供給品目**

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	新藍など	9月中旬～	12月下旬～
ハクサイ	お黄にいり・晴黄・無双など	9月中旬～	12月下旬～
ブロッコリー	ハイツ・エンデバーなど	9月中旬～	11月下旬～
レタス	ロマリア・シスコなど	9月中旬～	11月下旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。  
 ※特注品についても相談の上、対応致します。

**栽培品目(例)**

分類	品目例
葉菜類	コマツナ、チンゲンサイ、サラダナ、ミズナ、シュンギク、ナバナ
根菜類	ダイコン、小カブ、ニンジン

※作型については、種子袋など品目毎の資料を参照ください。